

第4節 学校外の学習機会の利用

1. 塾・家庭教師・通信教育その他

【学校外の学習機関のうち、もっとも利用されているのは学習塾で33.0%。前回調査と今回調査の比較では、宅配教材が減少し17.9%に、通信教育が増加し24.5%となっている。】
(図1-17、表1-4)

学校戦線縮小論が出てから、すでに久しいが、かつての小学校と異なり、今や学習は学校の授業だけでは不十分で、家庭学習はもちろん、学校外の様々な学習機関・機会の利用も普遍化している。ここでは、まず勉強に焦点を当て、児童の学校外の学習機関・機会の利用の状況を見てみよう。

図1-17で、学習塾に通っている児童は33.0%と約3分の1である。塾のタイプ別には、進学塾が8.5%、補習塾が18.2%、その他・不明が6.3%である。

家庭教師は5.7%と少数派であるが、前回よりも1.9ポイント増加している。通信教育は前回より6.4ポイント増え24.5%となり、今や4分の1の児童が利用している。宅配教材は前回の24.9%から大きく減り17.9%である。市販書の利用率は33.5%とおおよそ3分の1の利用率であった。

表1-4で地域別に学校外の学習機関・機会の利用率をみると、進学塾の利用率は大都市で25.6%と高くなっている。また、通信教育と市販書は地方都市で利用が多く、郡部で少ない。補習塾、宅配教材は地方都市で多い。そして家庭教師は、大都市でやや多い。この結果、大都市では進学塾と家庭教師、地方都市では補習塾、通信教育、宅配教材、市販書がそれぞれ多くなっている。郡部では学校外の学習機関・機会の利用率が低い。

Q7 あなたは今、学習じゅくに行っていますか。(そろばん、習字などのじゅくはのぞきます。「公文」のような自習教室はふくめます)

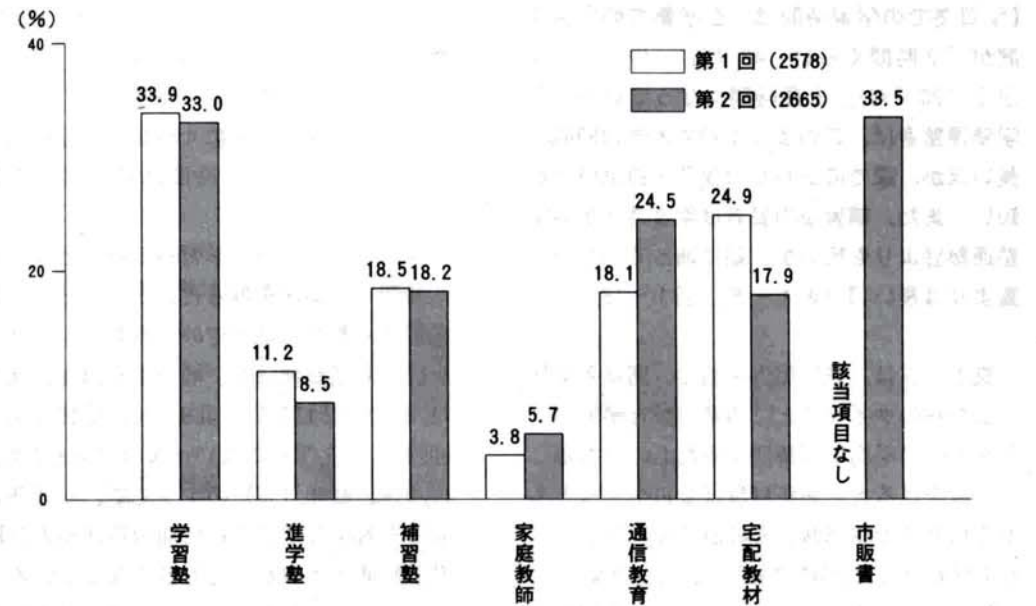
SQ1. [学習じゅくに行っている人におききます] あなたの行っている学習じゅくは、どんなじゅくですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

SQ2. [学習じゅくに行っている人におききます] 学習じゅくには、週に何日行っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

Q5 家での勉強のようすについておききます。あなたは家で勉強するとき、つぎのようなことをしますか。

1)~17)のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(ここでは、14)、15)、16)、17)を分析する)

図1-17 学校外学習機会利用率



注) () 内はサンプル数。

表1-4 地域別にみた学校外学習機会利用率

	学習塾	学習塾のうち		家庭教師	通信教育	宅配教材	市販書
		進学塾	補習塾				
全体 (2665)	33.0	8.5	18.2	5.7	24.5	17.9	33.5
大都市 (769)	47.5	25.6	16.0	7.8	25.1	14.3	35.0
地方都市 (708)	33.8	2.8	25.3	5.4	28.7	24.2	37.7
郡部 (1188)	23.2	0.8	15.4	4.5	21.5	16.6	30.1

注1) 郡部は東北地方の郡部、地方都市は四国の県庁所在地、大都市は東京23区内。

注2) 学習塾には、表の進学塾、補習塾の他に「その他」のカテゴリーがあるが、この表では省いた。

注3) () 内はサンプル数。

2. 学習塾への通塾と生活時間

【学習塾での学習時間は、進学塾での学習時間が「3時間くらい(42.7%)」や「4時間以上(20.7%)」と長時間になっている。進学塾通塾者は、このように塾での学習時間が長いほか、家でのテレビの視聴と睡眠時間が短い。また、補習塾通塾者は学習時間が進学塾通塾者よりも短い、塾に通っていない児童よりは長い。】(表1-5、図1-18)

表1-5は、塾に焦点を当て、通塾者全体および塾のタイプごとに通塾日数と塾での1日あたりの平均学習時間をみたものである。この表を見ると、通塾日数は2日がもっとも多く補習塾で68.5%、その他で55.3%、ただし進学塾は3日が32.2%と最も多い。塾での学習時間は、補習塾では1時間くら

いが44.3%、2時間くらいが43.5%と1時間から2時間くらいが中心になっている。これに対して、進学塾では3時間くらいがもっとも多く42.7%、さらに4時間以上も20.7%おり、進学塾での学習時間は非常に長時間になっている。

次に、図1-18で学習塾の利用と家での生活時間との関連をみると、1日に2時間以上学習する割合(塾等での学習も含む)は、①平日(非通塾13.9%、補習塾39.4%、進学塾71.8%)、②日曜日(非9.7%、補16.5%、進60.4%)、③学校のない土曜日の学習時間が2時間以上(非8.4%、補17.9%、進66.1%)のすべてで、非通塾者がもっとも少なく、これに補習塾通塾者が続き、進学塾通塾者がもっとも多くなっている。また、④テレビの視聴については2時間以上の

割合が非通塾79.9%、補習塾75.9%とほぼ同じであるのに対して、進学塾通塾者のみが44.5%と5割を切っている。⑤平日の就寝時刻では、11時以降に就寝する割合が、進学塾

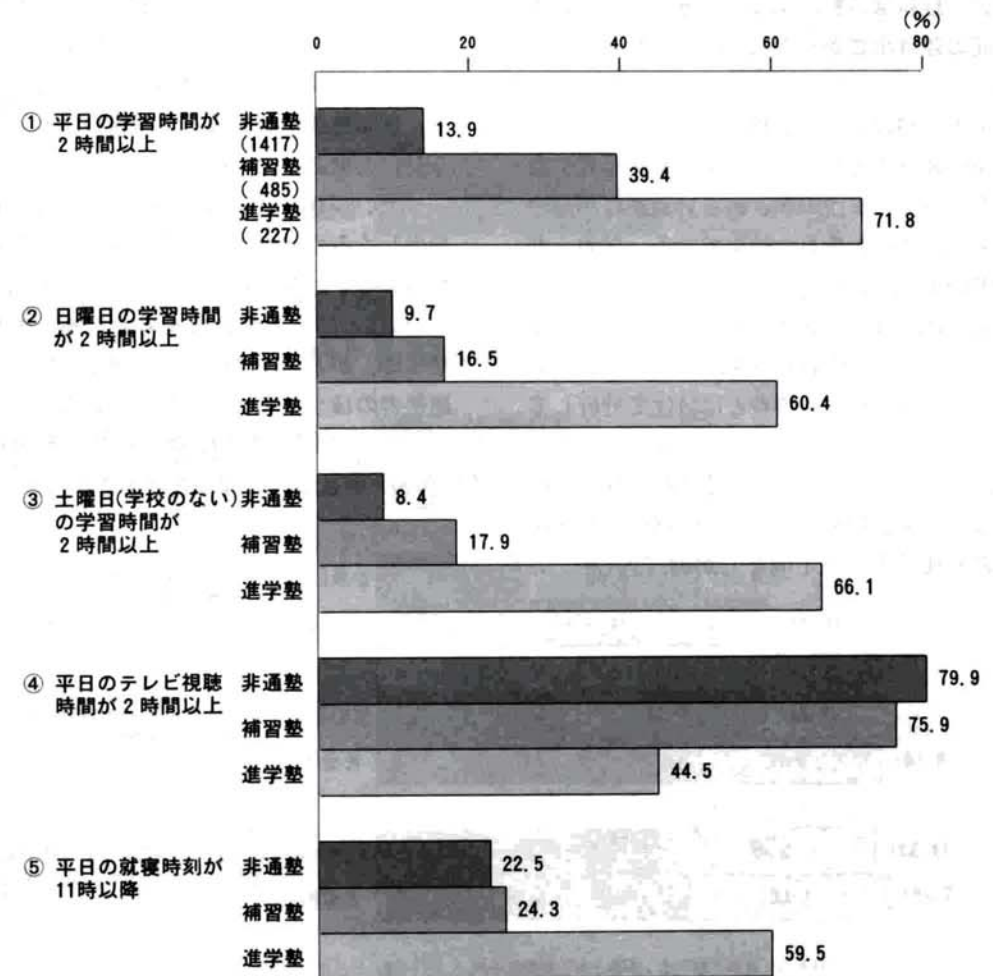
通塾者で59.5%と高くなっている。このようにみえていくと、進学塾通塾者は学習時間が長く、テレビの視聴と睡眠時間が短い。また、非通塾者は学習時間がもっとも少ない。

表1-5 塾のタイプ別にみた通塾日数・塾での学習時間

A. 通塾日数	(%)								
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	毎日	無答・不明	
全体(880)	12.4	51.7	15.6	9.3	5.0	1.4	0.8	3.9	
補習塾(485)	13.2	68.5	9.7	3.9	1.9	0.8	0.6	1.4	
進学塾(227)	7.0	17.6	32.2	24.2	15.0	2.6	0.9	0.4	
その他(94)	20.2	55.3	14.9	6.4	0.0	1.1	1.1	1.1	
B. 塾での学習時間	(%)							無答・不明	
	30分くらい	1時間くらい	2時間くらい	3時間くらい	4時間以上				
	全体(880)	4.1	36.6	33.9	14.7	6.1	4.7		
	補習塾(485)	4.7	44.3	43.5	3.7	1.2	2.5		
	進学塾(227)	0.9	7.5	24.7	42.7	20.7	3.5		
その他(94)	5.3	66.0	17.0	10.6	0.0	1.1			

注1) B. 塾での学習時間は、1日平均。
注2) ()内はサンプル数。

図1-18 学習塾の利用別にみた生活時間



注1) ①~③には、塾や家庭教師について学習する時間も含む。
注2) ()内はサンプル数。

3. 進学塾への通塾と学習への意欲・関心

【学習の中で受ける感動では、社会と算数と国語で進学塾通塾者のほうが感動をしていた。また、学習への意欲（好き）でも、社会と算数は通塾者のほうが学習への意欲（好き）が高い。理科は感動、意欲（好き）ともに両者の間の差は小さかった。】（図1-19）

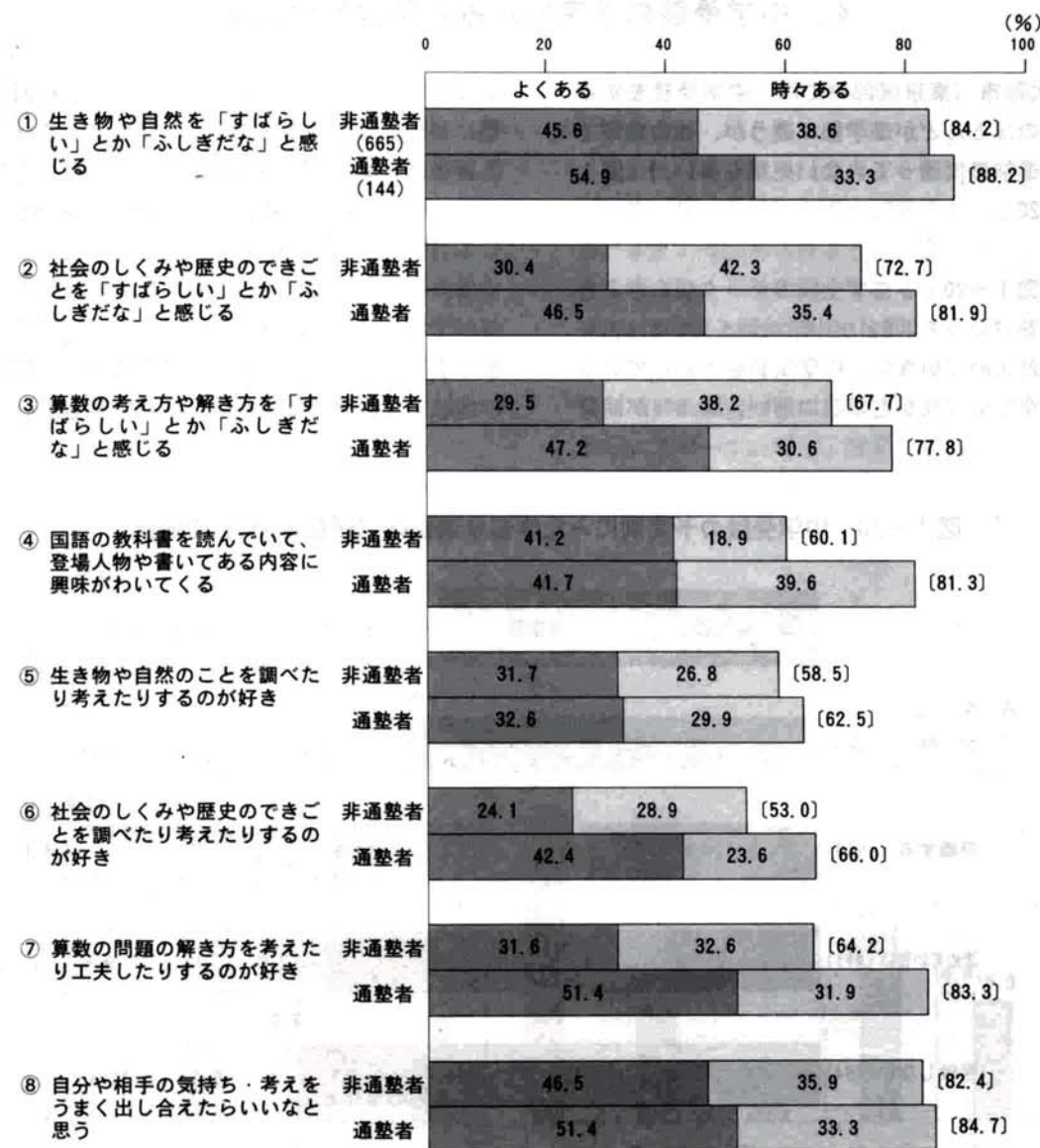
図1-19は、中学受験の準備機関である進学塾に通うことが、児童の学習から感動や意欲をそいでしまうのか、あるいは逆に感動や意欲を増すのかをみた結果である。なお、進学塾通塾者は成績上位の児童が多いので、この表では調査サンプル全体ではなくサンプルの中から成績上位者のみを取り出して、進学塾への通塾者と非通塾者とに分けて分析している。

最初に、学習の中で受ける感動では、理科では「①生き物や自然」で非通塾者（進学塾への非通塾者。以下同じ）が84.2%（＝「よ

くある」「時々ある」の合計、以下同じ）、通塾者が88.2%とほぼ同じである。しかし社会と算数と国語では、「②社会のしくみや歴史のできごと（非72.7%<通81.9%）」「③算数の考え方や解き方（非67.7%<通77.8%）」「④国語の教科書の登場人物や書いてある内容（非60.1%<通81.3%）」となっており、進学塾通塾者のほうが学習の中から感動を受けている。

また、学習への意欲（好き）では、「⑥社会のしくみや歴史のできごとを調べたり考えたりする」が非通塾者53.0%、通塾者66.0%、「⑦算数の問題の解き方を考えたり工夫したりする」が非通塾者64.2%、通塾者83.3%と、通塾者のほうが学習への意欲（好き）が高い。しかし、理科と国語に関連する2つの項目（⑤⑧）では両者の間の差は小さかった。

図1-19 進学塾への通塾・非通塾別にみた学習への意欲・感動（成績上位者）



注1) [] 内の数値は「よくある」と「時々ある」の合計。
 注2) 「非通塾者」は「進学塾への非通塾者」を意味する。
 注3) () 内はサンプル数。

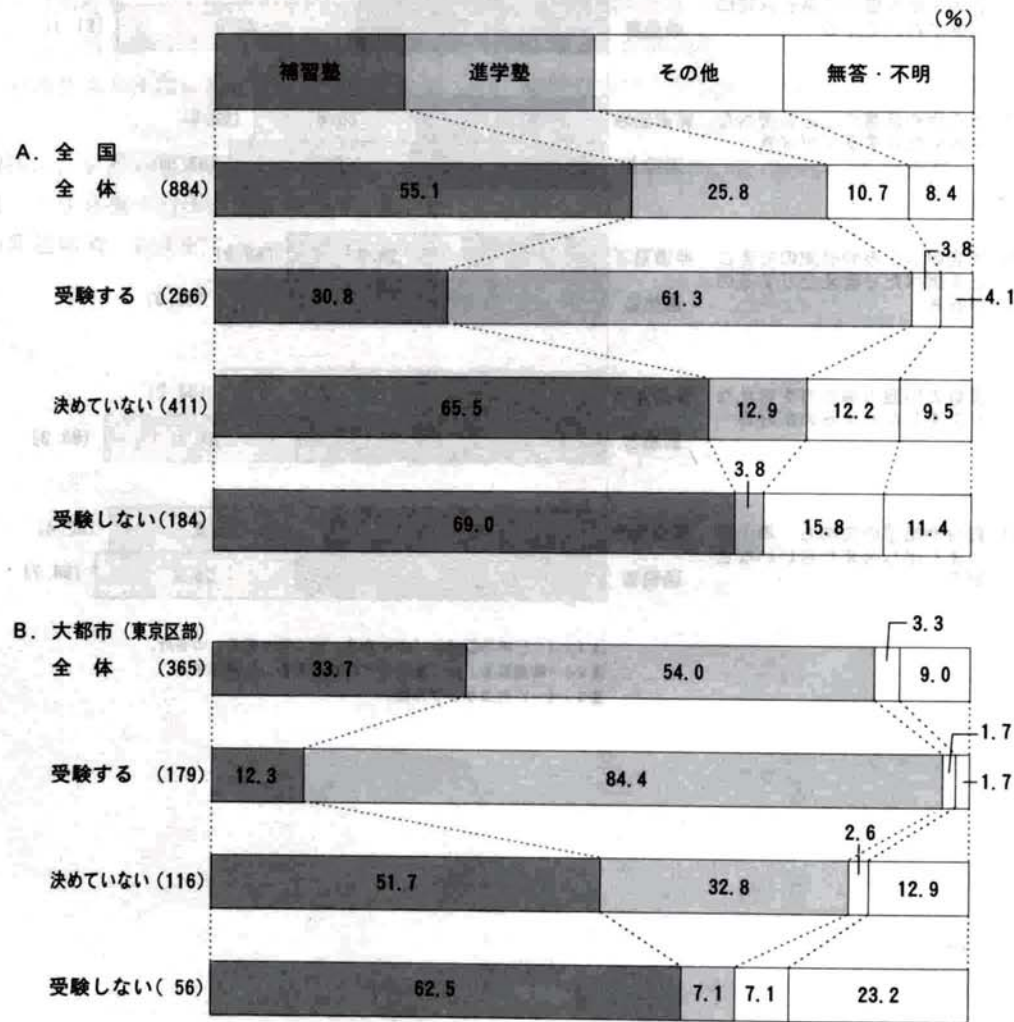
4. 中学受験の予定別にみた学習塾通塾率

【大都市（東京区部）では、中学受験をする者のほとんどが進学塾に通うが、他の地域では進学塾に通っていない児童も多い。】（図1-20）

図1-20で、まず全国のデータからみると、通塾者のうち266名が中学受験をし、411名がまだ決めていない。中学受験を予定している児童の61.3%が進学塾に通い、30.8%が補習塾に通っている。受験をしない児童は、補習塾に通う割合が69.0%で、進学塾に通っている児童は3.8%のみである。大都市（東京区部）では、中学受験をする児童で学習塾に通っている者179名のうち84.4%が進学塾に通っている。全国平均よりも23.1ポイントも高くなっている。大都市（東京区部）では、中学受験をする者のほとんどが進学塾に通うが、他の地域では進学塾に通っていない児童も多い。

塾に通っている。受験をしない児童は、補習塾に通う割合が69.0%で、進学塾に通っている児童は3.8%のみである。大都市（東京区部）では、中学受験をする児童で学習塾に通っている者179名のうち84.4%が進学塾に通っている。全国平均よりも23.1ポイントも高くなっている。大都市（東京区部）では、中学受験をする者のほとんどが進学塾に通うが、他の地域では進学塾に通っていない児童も多い。

図1-20 中学受験の予定別にみた学習塾通塾率（通塾者884名の内訳）



注) () 内はサンプル数。

5. 習い事・おけいこ事

【習い事やおけいこ事では、スポーツがもっとも多く41.5%、つづいて習字が29.5%、音楽が25.3%、英語が15.1%となっている。】（図1-21、表1-6）

Q6

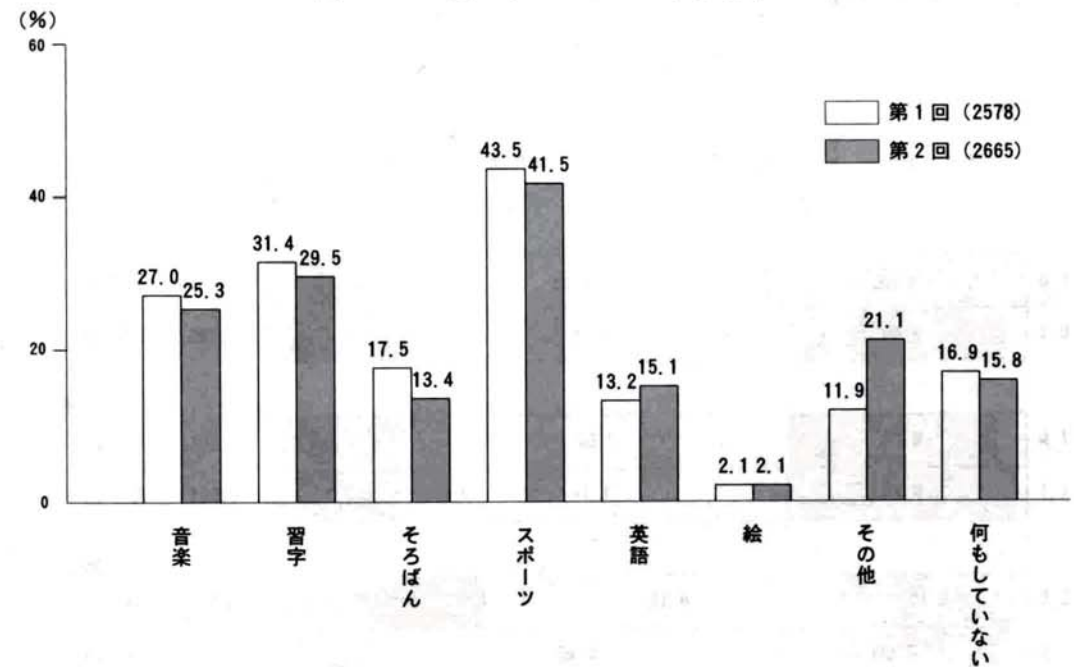
あなたは、おけいこや学校外のクラブに行っていますか。行っているものや、やっているもの全部に○をつけてください。

次に、児童の学校外の学習機関・機会の利

用の状況のうち、習い事とおけいこ事とを見てみよう。

図1-21は、第1回調査と今回調査について、習い事・おけいこ事の利用率を示している。まず、今回からみると、何もしていない者は15.8%。そしてやっていることの中では、スポーツがもっとも多く41.5%、つづいて習字が29.5%、音楽が25.3%、英語が15.1%となっている。前回との比較では英語がやや増加し、スポーツ、習字、音楽、そろばんがわずかに減少している。

図1-21 習い事・おけいこ事利用率



注) () 内はサンプル数。

性別には、表1-6のように、男子でスポーツが56.4%、女子で音楽が40.5%、習字が36.0%となっている。地域別には、大都市では英語が多い。郡部ではそろばんが多く、音楽、スポーツが少ない。

表1-6 性別・地域別にみた習い事利用率

(%)

		音楽	習字	そろばん	スポーツ	英語	絵	その他	何もしていない
性別	男子 (1331)	10.2	22.9	12.2	56.4	12.9	1.7	21.0	15.6
	女子 (1329)	40.5	36.0	14.7	26.6	17.2	2.6	21.3	16.0
地域別	大都市 (769)	29.1	26.7	9.6	46.7	20.9	4.3	19.4	10.4
	地方都市 (708)	31.9	31.2	10.0	46.8	13.6	2.7	33.3	16.5
	郡部 (1188)	18.9	30.2	17.9	35.0	12.2	0.4	15.0	18.9

注) () 内はサンプル数。